

松山聖陵高校マニフェスト 10 項目

- (1) 「自律」して「自立」できる生徒を育てます。
- (2) 生徒が達成感を味わえる教育活動を実践します。
- (3) きめ細かな学習指導により、基礎学力の定着に努めます。
- (4) 生徒全員の進路を決定させます。
- (5) 礼儀正しく、元気なあいさつができる生徒を育てます。
- (6) 個性を伸ばし、社会に対応できる生徒を育てます。
- (7) やさしく思いやりのある生徒を育てます。
- (8) 全運動部、県大会出場以上を目指します。
- (9) 各種資格取得に向け、徹底した学習支援を行います。
- (10) 皆勤・精勤率 55%以上を目指します。

各課マニフェスト

教務課

- (1) 「学び直し」により基礎学力の定着を図り、更なる学力の向上を目指す。
- (2) 出席率 97%以上を目指す。

生徒課

- (1) 特別指導数 20%減を目指す。
- (2) 一人ひとりの人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高める生徒指導を目指す。
- (3) 自覚と責任を求める生徒指導を徹底し、規範意識を高めることに重点を置いた指導を推進する。
- (4) 身だしなみ指導違反者ゼロを目指す。

進路課

- (1) 学校紹介就職希望者内定率 100%を目指す。
- (2) 進学希望者進学達成率 100%を目指す。

特活課

- (1) 運動部・文化部・生産部は、県大会・全国大会出場を目指す。
- (2) 特別活動を充実させ、学校生活全般を活性化させる。
- (3) 部活動・学校行事など、生徒が完全燃焼できる場を提供する。
- (4) 式典や芸術・文化活動を通し、日本の伝統と文化を愛する人を育てる。

保健課

- (1) う歯治療率 100%を目標とする。
- (2) 朝食の摂取率 100%を目標とする。
- (3) 教職員の心身健康増進を目的とした活動を実施する。

人権教育課

- (1) いじめのない、思いやりにあふれたホームルーム作りを支援する。
- (2) 人権便り「陵光」を年間 3 回以上発行する。
- (3) 人権・同和学習ホームルーム活動を年間 4 回以上行う。
- (4) 道徳教育ホームルーム活動を年間 2 回以上行う。

教育相談課

- (1) 悩みを持つ生徒について全教職員で問題の克服、解消に努め、100%の解決を目指す。
- (2) 学校生活適応困難な生徒に対し、積極的な支援相談に応じる。
- (3) 別室登校生徒が出た場合は、教室復帰を目指す。
- (4) SC (スクールカウンセラー) との密な連携を図り、生徒と保護者を支援するとともに教職員の資質向上を図る。

図書・研修課

- (1) 積極的な読書活動を通して、考える力を高め、自らを表現できる力を育成する。
- (2) 読書の習慣を身につけさせるため、SHR 前の時間を利用した朝読書の実施に努める。
- (3) 一人あたり貸し出し冊数 2.0 冊以上を目標とする。
- (4) 自己研修や各種研修会、研究授業を通して、教職員の指導力の向上と意識の統一を図る。
- (5) 教科研究授業 (各教科ごとに年 1 回以上) ・ホームルーム研究授業 (6 月と 11 月) を実施する。

各科マニフェスト

普通科

年間努力目標

- (1) 各コースの特色を生かし、生徒自らが夢の実現に向かって取り組む姿勢を育てる。
- (2) 知・徳・体のバランスがとれた人格の育成に努め、社会に奉仕する心を育てる。
- (3) 家庭との連絡を密にし、保護者の理解が得られる指導を心がける。
- (4) 指導内容の精選とわかりやすい授業で、基礎学力の充実と向上に努める。

具体的行動内容（達成目標）

- (1) 自ら進んであいさつできる生徒 100%を目指す。
- (2) 1 か年皆勤・精勤の生徒 40%以上を目指す。
- (3) 身だしなみの違反者ゼロを目指す。

■進学コース

年間努力目標

- (1) 進学達成率 100%を目指す。
- (2) 漢字検定 2 級、英語検定 2 級合格を目指す。
- (3) 面接指導の強化と小論文指導の徹底

具体的方策

- (1) 進学補習を実施し、学力向上を図る。
- (2) 早期より個人面接練習と小論文模試を実施し、生徒の表現能力を伸ばす。
- (3) 進学模試を受験させて進学への意識付けを図る。
- (4) SHR・終礼を使った小テストの実施。

■情報コース

年間努力目標

- (1) 学年末出席率 95%以上を達成する。(1～3 年)
- (2) 検定 3 種目以上 1 級合格者 50%を達成する。(3 年)
- (3) 検定 1 種目以上 3 級合格者 100%を達成する。(1～3 年)
- (4) 進路決定率 100%を達成する。(3 年)

具体的方策

- (1) 保護者と協力して欠席の原因を明確にし、解消に努める。
- (2) 学習環境を整えたり、放課後に個別指導を実施したりし、合格率の向上を図る。
- (3) 各種検定の日程を明確にし、生徒に意識付けをさせる。また、一人でも多くの生徒が検定取得によって、達成感を味わえるよう全体で呼びかけをする。
- (4) 教科担任や進路課と連携して、粘り強い進路指導を展開する。

■スポーツコース

年間努力目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して高度な運動技能を習得できるようにする。
- (2) 心身ともに健全な人間の育成に資するとともに、体育・スポーツの振興発展に寄与する能力と態度を育てる。
- (3) 皆勤・精勤率 80%達成を目指す。
- (4) 進学率、就職率の 100%達成を目指す。

具体的方策

- (1) スポーツの高度な技能と審判法を習得させ、個人の技能を最高度に発揮して競技ができる能力と態度を養う。
- (2) 学校行事等を通して他の者のために進んで行動する習慣を身に付けさせる。
- (3) 実習を通して自発性を喚起し、リーダーシップを身に付けさせる。

■特進コース

年間努力目標

- (1) 自信と誇りを持たせる生活指導、学習指導をする。
- (2) 松山大学合格率 100%を目指す。
- (3) 国公立大学、難関私立大学合格率 80%を目指す。

具体的方策

- (1) 教育プラットフォームと手帳を活用し、自己教育力を向上させる。
- (2) 基礎基本をしっかりと身に付けさせる学習指導を継続していく。
- (3) きめ細かな個別指導を徹底し、生徒の力を十分伸ばせるように工夫する。
- (4) 全国模試の実施によって生徒の学力を把握していく。

自動車工学科

年間努力目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立を目指す。
- (2) 自動車整備士試験の合格を目指す。

具体的方策

- (1) あいさつの励行と時間を守らせる。
- (2) 自動車整備士の資格取得を目指すし、1,2年は学力・技術の定着を図り、3年は補習授業を通じて徹底した指導を行う。
- (3) 有機溶剤取扱業務特別教育（1年生全員）を目指す。
- (4) 5t未満のクレーン特別教育講習修了証取得（1年生希望者）を目指す。
- (5) アーク溶接特別教育講習修了証取得（1年生全員）を目指す。
- (6) 玉掛け（1t未満）特別教育講習修了証取得（1年生希望者）を目指す。
- (7) ガス溶接技能講習（2年生全員）を目指す。
- (8) 危険物取扱者合格率50%以上（1～3年生希望者）を目指す。
- (9) 電気自動車等の整備に係る特別教育修了証の取得（3年生全員）を目指す。
- (10) 3級自動車整備士試験合格率80%以上（2年生全員）、卒業時100%を目指す。

機 械 科

年間努力目標

個性を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。

具体的方策

- (1) けじめある生活習慣を身に付けさせる。
- (2) 整理・整頓、後片付けをきちんとさせる。
- (3) ものづくりを楽しむことができるよう興味・関心が持て、意欲が高まるように指導する。
- (4) 資格試験に積極的に取り組み、向上心の育成に繋げる。〈全員が3年間で4つ以上の資格取得を目指す〉
 - ①計算技術検定（4級）100%合格（1年生全員）を目指す。
 - ②計算技術検定（3級）80%合格（2年生全員）を目指す。
 - ③5t未満のクレーン特別教育講習修了証取得率100%（1年生全員）を目指す。
 - ④アーク溶接特別教育講習修了証取得率100%（1年生全員）を目指す。
 - ⑤ガス溶接技能講習修了証取得率100%（2年生全員）を目指す。
 - ⑥ボイラー取扱技能講習取得率100%（2,3年生希望者）を目指す。
 - ⑦2級ボイラー技工士合格率30%以上（3年生希望者）を目指す。
 - ⑧丙種危険物取扱者合格率40%以上（1～3年生希望者）を目指す。
 - ⑨乙種危険物取扱者合格率30%以上（1～3年生希望者）を目指す。

建 築 科

年間努力目標

建築科は、学び、失敗し、そして成長する学舎である。

具体的方策

- (1) 礼儀正しく、元気なあいさつができる生徒を育てる。
- (2) 進路決定100%達成を目指す。
- (3) 1か年皆勤・精勤者率50%以上を目指す。
- (4) 愛媛県高校生建築製図コンクールにおいて、入賞者率の県1位を目指す。
- (5) 初級CAD検定（建築系）合格率70%以上を目指す。
- (6) 2級インテリア設計士合格率80%以上を目指す。
- (7) 3級建築大工技能検定試験 希望者全員合格を目指す。
- (8) 3級鉄筋組立技能検定試験 希望者全員合格を目指す。
- (9) 3級左官技能検定試験 希望者全員合格を目指す。
- (10) 2級建築施工技術検定 希望者合格率50%以上を目指す。
- (11) 色彩検定3級 希望者合格率50%以上を目指す。